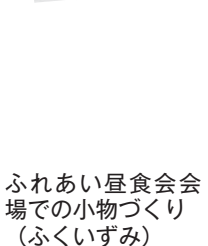


会員数	33,759	(前月比) + 92
郵送	8,671	(前月比) + 1
手配り	25,058	(前月比) + 119
協同基金到達額	2,223,766,000円(3/31現在) [前月比 75,519,000増]	
協同基金出資者数	11,631名(3/31現在)	
いのちを守る助け合い募金額	7,532円(3/1~31)	

「まちなみマップ」のとりくみをプレゼンテーションで分かりやすく(新金岡ともの家で)



友の会のサークルで行われている抹茶を体験(中区土師ともの家で)



ふれあい昼食会会場での小物づくり(ふくいずみ)



会員さんがしているストレッチ教室を体験(つくの支部)



地域の会員さん訪問(みなと支部の地域で)



大浜ともの家でサークル紹介



班活動の紹介(泉ヶ丘西支部)



デイサービスセンターも見学(高石エリア)



「とも」を配りながら会員訪問(東西支部の地域で)

新入職員 オリエンテーション

支部の特徴を活かし 友の会活動リアルに伝える

医療法人同仁会グループへの新入職員オリエンテーションが4月1~3日に行われました。

健康友の会について知るプログラムが毎年、その期間の半日を利用して用意されます。今年も65人が9つのグループに分かれ、東西

の体験や地域訪問、まちなみマップを利用した市役所・みなと・大浜・津久野・南花田・中区・ふくいずみ・高石・泉ヶ丘西各支部と交流しました。

新入職員との懇談での健康友の会や支部の紹介に加え、ともの家でのとりくみ

の体験や地域訪問、まちなみマップを利用した市役所職員との交渉の紹介など、それぞれの支部から、支部の特色を活かした友の会活動がリアルに伝えられました。

感想

●新入職員の感想の一部を紹介します。

●地域に出ていくという耳原の精神を実際に体験できてよかったです
(医師)

●地域に密着していて、人と人とのつながりがあるって温かさを感じました。一人暮らしの方への配食サービスや、新聞配達での「安否確認」など大切なあと感じました。期待に応えられるように努力したいと思っています
(歯科衛生士)

●大きな声であいさすすることが大事だと思いました。つながりの大切さを改めて感じ、そのつながりが、支えや力を生み出す原動力になっている。新たなつながりをしつかり作れるように努力していきたいと思えました
(薬剤師)

新入職員 みなさんへ



健康友の会みみはら
会長 森島 嘉之

新入職員に期待することは、私たちみんなのねがいそのものであると言ってよい。それは「患者の立場に立てる人であってほしい」ということに尽きると思う。患者・利用者でもある友の会会員と共同して諸活動に取り組んで、そして地域と結びつき、地域に根づく医療機関のスタッフとして研さんを積んでほしい。

新病院には友の会や地域の人たちが交流しあえる「地域交流ゾーン」が設けられるが、工事完成を待つまでもなく、「病院はいのちとくらしのミュージアム」という理念を体現させる場所として、友の会支部のたまり場を訪ねて交流してほしい。

健康友の会みみはら 第27回総会のお知らせ

日時：5月24日(土)
14時~16時30分
場所：旭ヶ丘会館

・公共交通機関をご利用ください

聴診器

カジノ、武器輸出、混合診療が国民に詳しく知らされないまま実施されようとしている。以下インターネットのニュースから。日本経済団体連合会(経団連)は「大規模展示・会議施設をカジノを含めて開発することが国際的な流れ」と経済性と倫理性を踏まえた国民的な検討を提案した。武器輸出は軍事産業でつくる経団連防衛生産委員会が国際競争に勝ち抜くためとして輸出禁止策から武器輸出三原則の「改善案」を提示した。さらにニュースは、内閣府の下にある規制改革会議は一部の先進医療で、将来保険診療に移行することを前提に「国民や患者からみて優しい新制度で、現状よりもプラスになる」から混合診療を進める、と続いている。カジノを含めた開発が国際的な流れは本当なのか。武器輸出の国際競争のゴールはなんだろうか。先進医療のためには現在の保険診療ではなく混合診療が必要だろうか。カジノはギャンブル依存症を生む。武器輸出は殺人道具の売り込みである。技術進歩による最新の検査・治療も公的保険で受けられるべきだ。「規制緩和、規制改革」を叫ぶ大企業は医療と介護、果てはひとの命まで儲けの対象にする。多くの人々と私たち非営利を貫く民連職員は一緒にこの動きを監視し規制を強めよう。
(和)